

枚方市教育大綱 (案)

令和6年 月

枚方市

枚方市の教育理念

『夢と志を持ち、可能性に挑戦する“枚方のこども”の育成』

～子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす枚方の教育～

教育方針

<重点方針1 確かな学力の育成>

1-1 確かな学力の育成

一人ひとりの教育的ニーズを大切にしながら、子どもたちにとって、わかる授業や「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業をめざして「授業改善」「家庭学習の充実」に取り組めます。また、学校図書館の充実にも取り組めます。

1-2 社会を生き抜く力の育成

変化の激しい社会においても、力強く生き抜くために必要な、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成に取り組めます。

また、職業体験や社会見学、社会人による特別授業とともに、休日における地域活動への参加など、未来につながる社会体験の機会を提供します。

1-3 教員の育成

多分野にわたる研修を実践し、幅広い知識・視野を持ち、子どもたちの多様な価値観を認めることができる教員の育成に取り組めます。

<重点方針2 豊かな心と健全な体の育成>

2-1 豊かな心と健全な体の育成

心身の健全な発達のため、クラブ活動の持続的な運営などにより、子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会や環境を一体的に整備します。

また、成長期にあるすべての子どもたちに、質の高い安全で安心な学校給食を提供します。

<重点方針3 子どもをとりまく様々な課題の解決>

3-1 いじめの防止、早期解決

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者の精神的苦痛や不安をより早期に克服できるよう、学校園や教育委員会をはじめ、市が一丸となって連携しながら誠実かつ丁寧に組織的対応を行います。

3-2 不登校の防止、早期解決

不登校を未然に防ぐことに力を尽くすとともに、不登校となった際には、学校園への復帰以外の選択肢としての子どもの居場所を広く確保し、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます。

3-3 子どもの貧困対策、ヤングケアラー対策

あらゆる子どもの教育を受ける機会の確保に向けて、子どもの貧困対策やヤングケアラー対策を進めます。

<重点方針4 豊かな学びを支える学校園づくり>

4-1 学校園ガバナンスの確立

教育内容や子どもに関わる課題が多様化・複雑化する中、学校園を組織として機能させるため学校園のガバナンスの確立に取り組みます。

4-2 開かれた学校園運営

学校園への信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力調査の結果だけでなく、いじめや不登校など、子どもの状況を含めた学校情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます。

4-3 学校園の教育環境整備

次代を生き抜く子どもたちの教育環境の質的向上を図るため、ICT環境を充実させるとともに、学校園施設の長寿命化改修や保線的改修に取り組みます。あわせて、施設のバリアフリー化やZEB化に取り組みます。

<重点方針5 遊びや学びの充実>

5-1 3間の提供

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。小学校の放課後を、禁止事項をできる限りなくし、子どもたちの自由な空間として開放します。

5-2 生涯学習の推進

学びの機会の提供や、知の源泉となる図書館の活用、スポーツ・文化芸術・歴史に親しめる環境づくりなど、人とまちを豊かにする生涯学習を推進し、学びの習慣を育んでいくため、生涯学習と学校教育との連携を強化します。